

寒川町議選

2月4日告示、9日投票

山田、青木両候補が全力

2月4日告示、同9日投票で行われる寒川町議選挙は定数18に対し、20人以上の立候補が予想され、かつてない激戦の様相を呈して



青木ひろし町議

山田まさひろ町議

います。日本共産党は、現職で3期目の山田まさひろ町議、同じく現職で2期目の青木ひろし町議の2議席を守り抜くために全力をあげます。

の洪水で悩まされてきた小出川の増水対策に対しては国や県にも何回も要求し、現在その対策のための遊水地を建設中です。

町には20億円もの財政調整基金があり、共産党の2議員はこれを暮らしと福祉、教育に活用するように訴えています。

2人の町議団はこれまで、18歳までの医療費無料化を所得制限なしで実施するよう繰り返し議会で取り上げ実現。また、地元建設業の活性化につながる住宅リフォーム助成制度の継続と拡充をたびたび取り上げて、継続して実施されています。これまで町民が度々

無償化を。まずは半額に②高すぎる国保料の負担軽減のために18歳まで均等割りをゼロに③介護保険料の町独自の軽減策④3度目となる下水道料金値上げストンプ、などを掲げ、「町民のみなさんの願い実現のためにぜひ2人を押し上げて」と地元党組織とともに奮闘しています。